

こまくさ



発行 / 令和8年2月15日

一般社団法人 だんだん会 地域看護センターあんあん



「自分らしく生ききる人生」の応援団として
最高の支援が提供できるよう頑張っています!!

スマイル



利用者の幸福の追求とその人らしい豊かな生活の
実現を支援します。

多機能型重症児デイサービス 和げん



医療的ケアからリハビリまで安心してトータルに
お任せいただける支援をご提供します。

フルリールむかわ



私たちは在宅復帰を支援する地域の拠点となる
よう、多職種で支援させていただきます。
「働いて、働いて、働いてまいります」

所長・支部長あいさつ



災害時保健医療救護について

中北保健所長 津 金 永 二

看護協会峡北地区支部の皆様には、日頃から保健医療福祉業務にご尽力頂いておりますことに深く感謝申し上げます。県や保健所では大規模災害時保健医療福祉救護マニュアルに則り、災害時の直接的な死亡や避難所等での災害関連死を防ぐ取り組みを行っています。災害死を防ぐためには医療機関の被災状況や傷病者数をEMISなどを使い情報収集を行い、DMATや医療救護班の派遣を行い、対応困難となれば広域搬送の調整を行います。近年、避難所での長期生活から健康を害し、亡くられる災害関連死が目立っています。災害関連死を防ぐためには、医療者の巡回等による健康管理が重要です。また、精神的ストレスを和らげるために、DPATも組織され巡回を行います。被災地の医療者は自らも被災しており、対応困難な場合が多くあります。被災地以外の地域や県外からの医療者を派遣調整する必要があり、そのため県本部や保健所にDHEATが派遣され、調整を行う受援体制の構築が急がれています。看護職の皆様も、災害医療体制の維持に向け、平時からの災害対策にご協力をお願いいたします。



社会や暮らしが大きく変わる中にある 連携の広がり

公益社団法人山梨県看護協会

峡北地区支部長 北杜市立甲陽病院 西 純 子

地区支部の皆様には、日頃より支部事業へご支援ご協力を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

社会や暮らしが大きく変わる2040年に向け、様々な場所で活躍する看護職は、キーパーソンとして多職種と協働し地域の健康を支えるために活躍することを期待されています。今年度の地区支部の事業活動でも、市民公開講座や健康相談・栄養相談等を開催するにあたり、管理栄養士など他の職種の皆さんから協力を得たことで、規模の大きな活動を行うことが出来ました。多くの住民の方々が参加され語り合う様子に、日頃の健康や生き方に対する地域の方々の意識の高さも感じました。また、例年実施している事例検討会では、医療・介護の複合的なニーズを持つ療養者の療養の場が、病院から自宅や地域へと移行し、看護職は地域において重要な存在となること等が話し合われ、この事例検討会が大事な連携の場であることを役員一同実感しました。

今後も私たち看護職のウェルビーイングの向上を大切にしながら、地域の人々の健康の課題を、看護職や多職種、関係者の方々、住民の方々と語り合い、ともに考え、取り組んでまいりたいと思います。今後も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度看護功労者

受賞おめでとうございます。

氏名	勤務場所
保坂 由美 様	韮崎市役所
山口 勝美 様	訪問看護ステーション ほっと・ほっと韮崎
平賀奈津子 様	小沢外科内科医院

「自然災害時の対応力強化と地域連携」 研修会に参加して

医療法人社団アルプス腎クリニック 渡邊 司 朗

峡北地区支部研修会「自然災害時の対応力強化と地域連携」は2022年から毎年開催されています。自施設は2021年の開院以降、研修会などへ積極的に参加を行っており、今年で3回目の参加となりました。

昨年、一昨年は元小千谷総合病院看護部長の佐藤和美先生をお迎えし、災害発生時の病院内の状況、より実践に即した訓練の重要性など、災害経験者の視点を交えた講義をしていただきました。今年は、創価大学看護学部の鈴木恵子先生に、山梨県、特に峡北地域の高齢化の状況や起こりうる災害を踏まえた災害対策や災害看護の役割などについて講義をしていただきました。

それぞれの講義において共通していた点は、看護職への心のケアの重要性や医療・介護施設として自立した対応が重要であること、平時から地域の方々との「顔の見える関係」構築が重要であることでした。

研修への参加は学びを深めるだけでなく、研修への参加を重ねるたびに地域の看護職の方々との重要な交流の場ともなっています。いつ起こるかかわからない災害に対して平時から顔の見える関係や地域連携の強化に活かしていきたいと思います。



講師：鈴木恵子 先生

健康まつり

巨摩共立病院健康まつりに協賛して

巨摩共立病院 上田 聡 美

10月19日、お天気が気になる中開催されました。

今年度は、認定看護師がブースを設置し、『アロマハンドマッサージ』『認知症マフの紹介』『带状疱疹の学習』等を体験できました。『山梨県看護協会1日まちの保健室』では、ストレスチェックに40名ほどチャレンジされ、心身の健康管理の意識の高さを垣間見ることができました。

キッチンカー、模擬店や健康相談のブースが出店し、400人近い入場者で笑顔があふれ、元気あるお祭でした。



研 修 会

「身体拘束最小化廃止・防止に向けて」 研修会に参加して

葦崎市立病院
認知症看護認定看護師 山 寺 恵 美

今回、研修に参加させて頂き、研修を通じて、看護師自身が身体拘束を安易に考えているのではないかという現状に気が付きました。現場では「転倒が心配」「ドレーンを抜くかもしれない」「起き上がってしまうから」等といった理由で身体拘束を実施することがあります。深く追求することなく「じゃあ、縛ろう」といった判断をしてしまうことに慣れていってしまっているように思います。しかし、それは患者の尊厳を奪い身体的・心理的な苦痛を与えてしまっていると改めて感じました。

私が勤めている病棟は内科・外科・整形外科の混合病棟で急性期の患者が多く、治療や安全確保を優先するあまり、身体拘束に頼ってしまう場面も少なくありません。けれど「本当に身体拘束が必要なのか」「他の方法で安全を守ることはできないか」と考える姿勢が重要と感じます。

身体拘束の廃止・最小化は簡単なことではないと思いますが病棟で情報を共有し、環境調整や声かけ、見守りなど身体拘束ではない方法を積極的に取り入れていくことで患者の尊厳を守る看護につなげていきたいです。認知症看護認定看護師として現場で率先して身体拘束最小化の意識を広げ患者の尊厳を守る看護の実現に責任をもって取り組み周囲にも伝えていけるように努めていきます。



講師：茅野久美先生



「その人らしく暮らすことを支える」 研修会に参加して

峡西病院 樋口 陽 子



講師：泉宗美恵先生

現在は治療後、地域で生活をしていくことが推奨されています。医療者にとってはエイジングインプレイス「生活している所で老いていく」ということを支え実現していくことが大切です。また「病気と共に生きる力」を共に考え、変化する生活を支え、伴走者となることが医療者には必要です。

難病を抱えた60代の本人と家族の思いを尊重し、どのような支援・連携が必要かを話し合いました。まずは本人、家族の思いを受け止め、様々な職種が、思いや希望を引き出していけることが大切。また、急速に変化する病状の中で生活がどう変化するのかイメージできるように細かく関わり、どう支援していくかを明確にし、生活基盤を整えた上で、進行していく病状の中で夢を叶えていける方法を探っていく必要があると話しました。

相談を受ける過程で、相談者の言葉が全てだと思ってしまうことがあります。しかし、本人は違う思いを持っている事もよくあります。それぞれの思いを受け止め、それぞれの希望通りにはいかないかもしれませんが、落としどころを探りそれぞれが納得できる場所を見つけていくことが重要と日々考えます。また、支援者は一か所や一人ではないことを伝えていくことが大切であると感じました。



市民公開講座

「人生100年時代を自分らしく生きる」に参加して

恵信葦崎病院 五味 明 美



鎌田 實 先生

7月12日土曜日に北杜市ふれあい館ホールにて11時30分～16時30分まで2部構成で行い、延べ327名の参加となりました。11時30分～4つのブースに分かれてスタンプラリー形式でまわり、講演後に抽選会を行い参加いただいた方が楽しく知識を得ることができ、これからの人生に思いを馳せる時間になったと多数の感想をいただいた企画となりました。

講演会は、諏訪中央病院名誉院長鎌田實先生と山梨県立大学泉宗美恵先生の笑いと感動の講演でした。

鎌田先生は、ご自身の生い立ちから、今までの人生をまるで映画を見ているような感覚に引き込まれる演出や語りでどんな状況になっても、自分で意思決定し治療の選択をしている方は、周りの家族や医療従事者さえも勇気づける。お互い納得し人生を自分の意思で閉じることができる。心の持つ力のすごさを教えてくださいました。泉宗先生はご家族の緊急手術が必要になった事例を紹介しながら、ご家族の意思決定を通じ医療者のありかた、意思決定に寄り添いとともに治療を選択していく大切さについて教えてくださいました。これからも、本人と家族が笑顔で安心して暮らしていくために日常の会話の中で情報共有し、治療や選択が必要な時にその人の意思を尊重し寄り添える関わりをしていきたいと思ひます。



泉宗美恵 先生

講演会は、諏訪中央病院名誉院長鎌田實先生と山梨県立大学泉宗美恵先生の笑いと感動の講演でした。鎌田先生は、ご自身の生い立ちから、今までの人生をまるで映画を見ているような感覚に引き込まれる演出や語りでどんな状況になっても、自分で意思決定し治療の選択をしている方は、周りの家族や医療従事者さえも勇気づける。お互い納得し人生を自分の意思で閉じることができる。心の持つ力のすごさを教えてくださいました。泉宗先生はご家族の緊急手術が必要になった事例を紹介しながら、ご家族の意思決定を通じ医療者のありかた、意思決定に寄り添いとともに治療を選択していく大切さについて教えてくださいました。これからも、本人と家族が笑顔で安心して暮らしていくために日常の会話の中で情報共有し、治療や選択が必要な時にその人の意思を尊重し寄り添える関わりをしていきたいと思ひます。

健康フェスタ

南アルプス市健康フェスタ2025に協賛して

南アルプス市役所 望月 彩 美

11月23日、南アルプス市健康フェスタ2025が爽やかな秋晴れのもと開催され、多くの来場者で賑わいました。

峡北地区支部は昨年に続き、血管年齢・骨密度・体組成測定の説明や健康相談を行い、今年は新たにストレスチェックとところの健康相談も加えました。ストレスチェックは初めて体験する方が多く、関心を持っていただき大勢の方が参加されました。

イベントを通して健康を見直す良い機会になったとの声も寄せられ、看護職として地域の健康づくりに関わられることを嬉しく感じました。今後も継続して活動していきたいです。



中小規模事業所の健康づくり対策事業への協力

労働者数50人未満の中小規模事業所の事業者やそこで働く人を対象に健康づくりに関する講話等を行っています。今年度は1事業所から申し込みがあり「血糖が上がらない生活習慣・運動などの工夫」についてお話ししました。



山梨県看護協会峡北地区支部役員

役職名	職種	氏名	所属
支部長	看	西 純子	北杜市立甲陽病院
第一副支部長	看	川 名由美	県立あけぼの医療福祉センター
第二副支部長	看	高 嶋純子	峡西病院
第三副支部長	保	堀 川海由季	韮崎市役所
幹事	看	塚 越 暁美	訪問看護ステーション ほっと・ほっと韮崎
	看	五 味 明美	恵信韮崎病院
	看	小田切 由美子	韮崎市立病院
	看	吉 田 周平	韮崎東ヶ丘病院
	看	渡 辺 純子	白根徳洲会病院
	看	小 林 みどり	北杜市立塩川病院
	保	青 木 梨虹	中北保健福祉事務所
書記	保	望 月 彩美	南アルプス市役所
会計	看	樋 口 陽子	県立北病院
看護協会峡北地区支部理事	看	上 田 聡美	巨摩共立病院
会報委員会	保	堀 川海由季	韮崎市役所
	看	佐 野 聖子	高原病院
	看	保 科 浩子	韮崎市立病院
	看	渡 辺 純子	白根徳洲会病院
看護連携継続委員会	看	高 嶋純子	峡西病院
	看	塚 越 暁美	訪問看護ステーション ほっと・ほっと韮崎
	看	土 屋 弘子	巨摩共立病院
	看	窪 田 永江	しおかわ福寿の里
	保	青 木 梨虹	中北保健福祉事務所

「認定看護師」として いっしょに活動しませんか？

日々医療の現場は、高度化し専門分化が進んでいます。水準の高い看護の実践ができる「認定看護師」は、看護師として5年以上の実践経験を持ち日本看護協会が定める600時間以上の認定看

護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できます。

興味がある方は、日本看護協会のホームページにある「認定看護師」を確認してみてください。

山梨県看護協会に
入会しましょう

こんな特典があります

1. 日本看護協会の看護職賠償責任保険制度に任意加入できます。(会費納入済者に限る)
○お問い合わせ：(株)日本看護協会出版会 ☎0120-088-073
2. 山梨県看護協会の研修、日本看護協会の研修へ会員料金での参加や図書室が利用できます。
3. 看護の今を紹介する「看護協会ニュース」をお届けしています。
○年3回発行の山梨県看護協会の会報誌(やまなし看護協会ニュース)
○月1回発行の日本看護協会の会報誌(日本看護協会ニュース)
4. 山梨看護学会への参加や研究成果の発表ができます。
5. 専門・認定看護師資格の取得準備ができます。
6. 研究会、勉強会に山梨県看護協会の研究室や会議室が利用ができます。
7. 看護に関する情報をいち早く入手できます。

会員特典サービス

山梨県看護協会では会員向けサービスを行っています。リフレッシュに、家族サービスにご利用いただけます。

- ①鍼灸マッサージ
- ②FUJIYAMA netクラブ(施設割引)
- ③スパランドホテル内藤(利用割引)
- ④(株)ヤマダホームズ
- ⑤アピオ甲府「アシェットセールセレス」
- ⑥甲府記念日ホテル
- ⑦サンリオビューロランド(施設割引)
- ⑧神の湯温泉(利用割引)
- ⑨大和ハウス工業(株)(特典割引)
- ⑩甲信マツダ(新車ご成約特典)
- ⑪中央法規出版(株)
- ⑫タカラレーベングループ(割引特典)
- ⑬クア・アンド・ホテルグループ
- ⑭結婚相談所ツヴァイ
- ⑮(株)日本トリム
- ⑯(株)アサシテ

●詳細は、ホームページ「会員特典」をご覧ください。
<http://www.yna.or.jp>

編集後記

皆さまのご協力により、「こまくさ21号」を発行する運びとなりました。

今年度、3回の研修会に加え、市民公開講座を開催し、多くの方にACPや今後の健康・人生の在り方について考えていただく機会となりました。

コロナが明けてから2年が経ち、支部活動も精力的に取り組むことができた一年だったと感じます。

今後もこまくさを通じて、支部の活動を多くの方にお伝えできたらと思います。

最後に快く寄稿して下さった方々に感謝申し上げます。

編集委員 堀川海由季／韮崎市役所 佐野 聖子／高原病院 保科 浩子／韮崎市立病院 渡辺 純子／白根徳洲会病院